

Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2018 での口頭発表

5月17日から20日に、台湾台北市で Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2018 (APSC) が開催されました。本学会は循環器に関する研究を中心として、アジアをはじめ多くの研究者の集う国際学会です。

私は、初代培養心筋細胞を用いて心筋細胞の肥大を指標として心不全治療薬の探索を行うためのハイスループットスクリーニング系の確立を行なったことに関して口頭で発表をしてきました。このスクリーニング系を用いれば、心不全治療薬の候補となる化合物の探索にかかる時間を大幅に短縮することができ、決定的な治療法の確立していない心不全を治療できる薬の発見に大いに貢献できます。

初めての外国の地、初めての英語発表と初めてのことばかりで発表はこれまでにないほど緊張してしまいました。しかしながら、練習の成果が普段通りのペースを保って発表することができました。なかなか相手の英語が聞き取れず、質疑応答は褒められたものではありませんでしたが、この悔しい経験をもとに海外の研究者ともディスカッションできるように今以上に語学勉強に力を入れていこうという意欲が湧きました。また、この時の質疑応答ではこれまでにあまり聞かれてこなかったことを突かれたので今後考えていく必要性や着眼点がとても勉強になりました。

初めての海外での学会で学んだこと、感じたことを忘れないように日々勉強していきたいです。そして今後学会に参加する際や外国の人とディスカッションをする時に活かしていけたらと考えています。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 分子病態学専攻
博士前期課程 1年 茂木 光

